

2017/12/22【学習支援】第  
30回 初年次教育セミナーを  
開催しました

○ 「修大基礎講座におけるReading・Writing授業の構築 ～経済科学部現代経済学科～」

日時：2017年12月22日(金)15:00～16:30

講師：亀崎 澄夫氏（広島修道大学経済科学部教授）

学習支援センターでは、2017年度の初年次教育セミナーのテーマを、「学修成果の可視化と進化を目指して」とし、教職員を対象に連続3回のセミナーを開催しました。

第3回目の今回は、本学経済科学部 亀崎澄夫教授を講師としてお迎えし、「修大基礎講座におけるReading・Writing授業の構築～経済科学部現代経済学科～」と題し、本学の初年次教育における授業実践事例をお話し戴きました。

亀崎先生は、本学の初年次教育の中核科目としてスタートした「FYS（ファーストイヤー・セミナー）I」とその後継科目としての「修大基礎講座」に、長期にわたって関わってこられました。まず、この間の現代経済学科における取り組み状況について述べられました。亀崎先生の教育的信条を織り交ぜながら、初年次教育は「教員を<教育そのもの>に向き合わず」ことができる存在として、「広島修道大学には初年次教育が必要である」と力説されました。

後半は、現在の現代経済学科における「修大基礎講座」の授業運営について、お話しをされました。授業規模や構成、内容やその授業に参画する「学習ピア」等の工夫について詳細な説明がありました。ここでは、15回分の授業で配付される資料、毎回の授業前に行われる「学習ピア」とのミーティング内容、さらに授業で取り上げた「ReadingとWriting授業」について詳しく紹介されました。

今回は、初年次教育を実施する難しさや今後の在り方など幅広い内容で、本学の初年次教育に一石を投じるセミナーとなりました。参加者からは、今までのご活躍を労う言葉と共に「改めて初年次教育の意義を感じた」や「自身の学科での科目を改めて改善しようと思えました」等の声が寄せられました。（参加者：教員9名、職員6名）

